

## はじめに

全国被害者支援ネットワークは創立20周年を迎えることができました。

これまで犯罪被害者等を支援する活動に、また、全国被害者支援ネットワークの運営にご尽力いただきました関係の皆様へ深く感謝を申し上げますとともに敬意を表する次第でございます。

創立20周年を迎えることができたこの機会に民間団体としてのこれまでの被害者支援活動の歩みを取りまとめ、今後の活動の糧にさせていただきたいと考え、「民間団体による犯罪被害者支援の歴史と展望」を発刊させていただきました。

日本における民間団体による被害者支援は、1992年4月、東京医科歯科大学の山上皓教授が犯罪被害者ご遺族である大久保恵美子氏の声に応えられて自らの研究室に「犯罪被害者相談室」を開設されたことから始まりました。

その後、茨城、北海道、石川、大阪、和歌山、広島、愛知に被害者支援センターが設立され、1998年、これら8団体によって全国被害者支援ネットワークが設立されました。全国ネットワークは、2010年には全都道府県の48被害者支援センターで構成され、2015年に全ての都道府県において公安委員会より犯罪被害者等早期援助団体の指定を受けることができました。ようやく被害者支援を全国の被害者支援センターが連携して活動する体制が整ったのです。この間、全国ネットワークは、2006年に特定非営利活動法人、2016年には公益社団法人の認定を内閣府から受け、公的に認証される団体として発展することができました。現在は、48被害者支援センターにおいて約1,500名の犯罪被害相談員・支援員等の皆さんがボランティアで支援活動に当たっていただいております。2018年度は、約29,000件の電話や面接による相談に対応し、裁判所への付き添い等の直接的支援を約8,000件実施しております。

また、全国ネットワークは、2018年4月夜間・休日の相談活動を補完すべく電話サポートセンターを開設し、日曜・祝日を含め7時30分より22時まで各被害者支援センターと連携しながら電話相談に対応しております。

犯罪被害者支援活動の原点は犯罪被害者等に 있습니다。私たちは、犯罪被害に遭われた方や関係の皆様の声に耳を傾け、皆様声を反映しながら活動の充実を図ってきました。同時に、将来ビジョンである「犯罪被害者等が全国のどこにいても、いつでも求める支援を受けられ、被害者の声に応えられる活動」の実現に向けて具体的目標を定めて取り組んできました。これらの活動につきましては、刑事法学を研究され、長年犯罪被害者支援活動にも携わってこられた同志社大学の奥村正雄教授（京都犯罪被害者支援センター副理事長）にお願いし、「民間犯罪被害者支援団体の歴史と展望」と題して取りまとめいただきました。また「国・地方公共団体等による犯罪被害者支援の歴史」と題して、安田貴彦氏、熊谷明彦氏、飛鳥井望氏に執筆いただきました。さらにコラム欄に、山上皓氏、大久保恵美子氏、堀河昌子氏、大谷實氏、武るり子氏、和氣みち子氏、山本潤氏、三輪佳久氏、田村裕氏、秋葉勝氏に全国ネットワークや各センターの設立、自助グループの活動等について執筆いただきました。

おかげさまで「民間団体の犯罪被害者支援の歴史と展望」をより体験に裏打ちされた充実した内容とすることができました。皆様方には大変お忙しい中ご執筆いただき、深く感謝いたしております。

当冊子が国民の皆様への民間被害者支援団体に対する理解の深まりの一助になるとともに、日々犯罪被害者支援に携わっておられる犯罪被害相談員や支援員等の皆様の活動の充実に関与することを強く願っております。

最後になりましたが、この冊子は全国被害者支援ネットワークの監事としてご尽力いただきました故荒川洋先生のご厚志により作成することができました。故荒川先生に深甚なる感謝を申し上げますとともに、ご冥福をお祈り申し上げます。

公益社団法人 全国被害者支援ネットワーク  
理事長 平井紀夫